



4



5



6



7



8

1_避難訓練を行う猪苗代小の児童ら 2_総合防災訓練に参加する半坂、中町、土町区の皆さん 3_はしご車による救助訓練 4_県消防防災ヘリによる救助訓練 5_建物火災を想定し、放水訓練を行う消防団員 6_地区住民も参加して行われた応急救護所設置訓練 7_亀ヶ城公園に設置された体験コーナーで、大雨を体験をする子どもたち 8_道の駅猪苗代で実施された応急給食訓練

特集2 万が一に備える

猪苗代町総合防災訓練

町では2年に一度、さまざまな災害を想定した総合防災訓練を実施しています。「万が一」の災害は、いつやってくるかわかりません。関係機関と私たちの住む地域が、平常時から連携して災害に備えることが「災害に強い地域づくり」につながります。



1



2



3

【Voice】



半坂区長
渡部 壽雄さん

訓練に参加して、私たちが住んでいる地域にどんな被害が生じる恐れがあるのか、災害時にはどのような行動をとるのかなど、普段から家族と話し合うことが大切だと感じました。この「話し合いの輪」が隣近所や地区へ広がればと思います。



町消防団長
五十嵐幸夫さん

消防団では、日頃から予防消防に努めていますが、火災以外にも風水害や雪害、噴火など、さまざまな災害に備えなくてはなりません。万が一の災害に対応できるように、平常時における災害への体制づくりや訓練が重要になると思います。

猪苗代町総合防災訓練は11月18日、猪苗代小学校や亀ヶ城公園、道の駅猪苗代などを会場に行われました。訓練には、町消防団や猪苗代消防署、猪苗代警察署、陸上自衛隊などの関係機関のほか、地域の自主防災組織や猪苗代小の児童など合わせて約600人が参加しました。

今回は、大雨と大地震の発生を想定した地震災害、土砂災害対応訓練と磐梯山が中規模な噴火を起こしたことを想定した火山災害訓練を実施し、災害への備えを確認しました。

猪苗代小学校の会場では、猪苗代小の児童や半坂、中町、土町区防災会の避難訓練や会津若松消防署によるはしご車救助訓練、町消防団の放水訓練などを実施。亀ヶ城公園の会場では、地震による負傷者を救助する応急救護所設置訓練などが行われたほか、大地震や大雨、煙の発生を体験することができるコーナーが設けられました。また、火山災害訓練では、山麓に取り残された要救助者を消防防災ヘリで救出する訓練やドローンによる情報収集訓練が行われました。このほかにも、土砂災害救出訓練や応急救護訓練なども行われ、参加者は緊張感をもって取り組み、防災への意識を高めました。